

井の頭恩賜公園花便り



サルスベリ ミソハギ科

サルスベリ属の落葉高木です。枝先の円錐花序に直径3～4cmの紅紫や白色の花が次々に開きます。花弁は6個で丸くてしわがあります。樹皮はまだら模様で滑らかで猿が登れないということからこの名が付けました。梅雨明けから初秋まで咲くため百日紅、別名ヒャクジツコウと呼ばれています。ミソハギと同じミソハギ科に分類されてます。



ミソハギ ミソハギ科

湿地や水田のあぜ道でよく見られます。茎は垂直に伸びて上部で枝が分かれ赤紫色の小花が3～5個集まって穂状に咲くミソハギ属の多年草です。昔は盆花として使われ精霊花などの呼び名もあります。名前の由来は、美しい色がハギに似ており、襖(みそぎ)に使ったことから「襖萩」と呼ばれて親しまれています。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所 (Tel.0422-47-6900) までお問い合わせください。